

## 地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会 芦北支部

### 芦北地域のイチゴ栽培における天敵を活用したハダニ類防除

J A あしきたでは平成27年から農業経営に参入し、36aでイチゴの高設栽培を行っており、平成29年から観光農園も開園しています。

このような中、芦北支部では「野菜産地育成実証展示ほ事業」を活用し、平成29年度はJ Aのイチゴハウスの一部に試験的にハダニ類の天敵を導入し、IPM防除効果を確認しました。また、平成30年度は全ハウスに天敵を導入するとともに、ハダニ類の天敵をパック製剤としたバンカーシートの防除効果を確認しました。その結果、11月上旬に天敵を放飼することで、ハダニ類を春先まで低密度に抑制できることを確認しました。

また、昨年度はハダニ類の薬剤感受性検定を実施し、薬剤感受性の現状を調査しました。その結果をもとに、育苗期からのハダニ類の防除に効果的な薬剤のローテーションを検討しました。

当支部では、展示ほ試験や感受性検定で得られた結果から、芦北地域における天敵利用マニュアルを作成し、地域での効果的な天敵利用方法や薬剤について生産者に助言することによって、芦北地域全体でハダニ類防除に関するIPMの取組みを進めていきます。



写真1 バンカーシート設置の様子

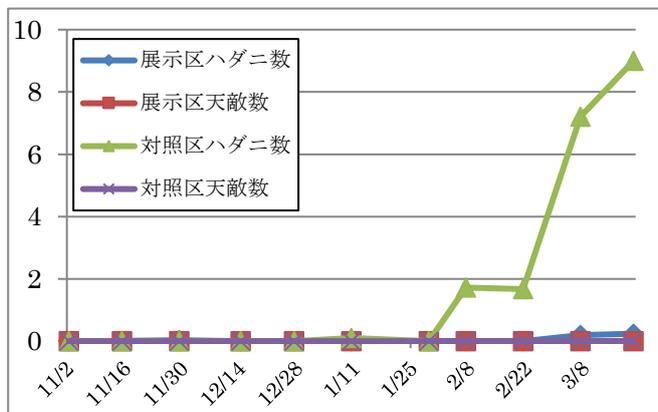


図1 バンカーシート導入展示ほ結果  
(展示区：バンカーシート、  
対照区：通常の天敵製剤)